

# 訪問看護ステーション 連絡協議会だより

## 第49号

発行年月 2025年2月  
発行所 岡山県訪問看護ステーション  
連絡協議会  
〒700-0805 岡山市北区兵団4-39  
岡山県看護研修センター3階  
TEL086-238-6688・FAX086-238-6681  
http://okayama.houmonkango.net/  
E-mail okayama@space.ocn.ne.jp  
発行責任者 菅崎仁美

### 年頭のご挨拶



一般社団法人  
岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

会長 菅崎仁美

平素より当協議会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

本年の干支である蛇は古来より脱皮を繰り返すことから「再生」や「変化」の象徴とされており、本年は新しい始まりや自己変革を期待する年と言われています。新たな可能性に満ちた年となることを期待します。

さて、私達は、2025年に向けて、サービスの質の向上、ICTの活用、地域包括システムの推進、人材確保と定着、多様なニーズへの対応への取り組みを行い、より質の高いサービスを提供し、地域社会において重要な役割を果たすことをめざしてきました。そして、2025年を迎え、次なる社会課題となる2040年に向けて、どのように人々の健康と暮らしを支えるのか、予防・療養・看取り、人生のどの場面においても看護は必要とされます。そのために今から取り組むべきことはなにかを考えていかなければなりません。

地域により体制や取組みも違います。当会の研修や会議を通し、事業所間の顔が見え気軽に声を掛けられる関係、知識や情報交換し合える関係等、事業所の質の向上を共に目指しながら、専門家として地域住民の皆さんが安心して望む場所での生活がかなえられるよう、質の高い看護を提供する訪問看護ステーションをめざしていきたいと思っております。

これからも皆様の忌憚ないご意見を頂けると幸いです。

#### 医療法人福寿会 藤戸クリニック

院長 平尾健一

医療法人福寿会 藤戸クリニックは19床の病床を有する診療所です。外来は予約制で地域の高齢者に内科・精神科・婦人科の診療をおこなっています。また、在宅療養支援診療所として様々な理由で通院が困難な在宅患者さまや施設患者さまへの訪問診療も積極的に実施しています。

倉敷南西部の在宅医療の拠点として、基幹病院や施設との連携を図りながら緊急入院の受け入れや終末期の緩和ケアなどに取り組んでいます。近年では医療DXによる医療情報の活用やICTを使用し各事業所との円滑で迅速な連携にも取り組んでいます。

地域の皆様が安心して過ごせるように医療・介護面をサポートしてまいりますので今後ともよろしく願い申し上げます。



→連絡先 086-428-8572

### 賛助会員からの メッセージ

#### 医療法人昭和会 倉敷北病院

理事長・院長 宮原淑人

当院は、障害者施設等一般病棟や医療療養病棟を持ち、長期の療養への取り組みを行っています。外来では患者様のニーズにお応えして、プライマリケアにも力を入れております。長年地域での高齢者医療と介護の充実に貢献してまいりました。

訪問医療の分野としては、訪問診療やみなし訪問看護で外来看護師が患者さんのお宅へ訪問しております。

特に当院の訪問看護は、同一法人内のサービス付き高齢者住宅「メディカ倉敷北」にて、医療ニーズの高い入居者様へ質の高い医療と介護を提供しており、従来であれば一般的な日常生活を諦め、入院生活でしか対応できなかった方々が、訪問看護による介入を行うことで、入院生活よりも更にQOLの高い、尊厳のある日常生活を続け、個々の患者様の状態における自立度のレベルに合わせた介入を行ってまいりました。

ご家族の皆様からも満足いただけている旨のお声を頂いております。

今後の目標としては、より一層地域のニーズに応えられるように体制の強化や技術の向上等に努めてまいります。

→連絡先 086-426-8711



「つながりの輪を広げるステーションリレー」  
 ステーションがらのリレーだより

アミューズ富永訪問看護ステーション岡山南  
 管理者 藤原麻衣子

アーク訪問看護ステーション中仙道  
 管理者 石森和美

こんにちは、アミューズ富永訪問看護ステーション岡山南です。わたしたちのステーションは岡山市の南区福富にあります。看護師5名、理学療法士4名、作業療法士1名、事務1名の総勢11名で日々訪問看護業務を行っています。

看護では「あなたとあなたの家族を支える☆あなたの街の看護師さん」を目指して毎日訪問させていただいています。それぞれの看護師さんのスキルを活かしつつ統一した看護が提供できるようにカンファレンスにも力を入れています。

リハビリでは個別の運動指導はもちろんですが福祉用具の提案やご家族様への介助指導を行っています。

訪問看護ステーションと社内にある薬局、福祉用具、居宅介護事業所など多職種で密に連携ができることも強みです。今後も地域で必要とされる事業所になれるように頑張っていきます。



アーク訪問看護ステーション中仙道店は、立ち上げから3年目を迎えたまだまだ発展途上中のステーションです。現在看護師8名、PT2名、OT1名、事務員2名で活動しており、事務所にはとても元気のいい事務員がおり、全力で訪問を頑張ってきたスタッフが、時間の隙間を見つけては事務所に元気を補充しに戻ってきます。直行直帰が増えてくると中々会えないスタッフも事務所で会えると利用者様の事はもちろん、推し活の事まで様々な情報共有をしながらエネルギーチャージをして訪問に出かけていきます。訪問先では家の力ってすごいなと感動することが多々あります。ご利用者様の生きる力を大切に守りたいと日々奮闘しているスタッフと共にまだまだ課題はありますが、一步一步前進していきたいと思っています。



令和6年度岡山市公衆衛生功労者表彰を受けて

西大寺訪問看護サービスセンター 中島貴子

この度は岡山市公衆衛生功労者表彰をいただき誠に光栄に思います。

病院勤務を経て、夜勤のない訪問看護の非常勤から再スタートし23年目になります。

これまで続けてこれたことは、利用者様をはじめ地域の方々の多職種の方々、スタッフ、家族の温かい支えがあってこそ心から感謝致します。

これからも母体の病院や多職種の方々と連携しながら、その人らしく生活できるように少しでもお役に立てればと思います。今まで経験を活かしつつ、自己研鑽に努めチーム一丸となり精進して参りたいと思います。今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。



市長表彰

- 📍 西大寺訪問看護サービスセンター 中島貴子
- 📍 岡山市医師会訪問看護ステーション 佐藤理佳
- 保健所長表彰
- 📍 訪問看護ステーションちやいむ 小野田佳代

創作活動

「ステーションを支えてくれるプロ達」

訪問看護ステーションなないろ  
 管理者 田野美香

訪問看護ステーションなないろでは、拘縮や骨メタ・終末期など、容易に身体を動かすことができない方の服を手直しし、利用者さんが普段使用しているパジャマを着たり、最期までズボンを履くことができるよう支援しています。なないろが主な訪問エリアとしている倉敷市児島は、倉敷デニム・学生服など繊維業で栄えた町です。実際ご利用者さんやそのご家族が生業としていた方が多く、訪問先で工業用ミシンをよく目にします。そこで元々仕事としていたプロ達（ご利用者さんやご家族）に縫い方などをご指導頂き、最近メキメキと裁縫の腕を上げています。それでも出来上がりは趣味レベルかも知れませんが、ご利用者さんやご家族に大変喜んで頂いています。「今あるものを工夫して使う」これも訪看の楽しい所です。なないろは多くの裁縫のプロ達にも支えてもらっています。



## 訪問看護サミット2024に参加して

みどり訪問看護ステーション

管理者 押目有紀

令和6年11月30日 訪問看護サミット2024に参加する機会をいただきました。更に、訪問看護事業の推進に貢献した事に、岡山県訪問看護ステーション連絡協議会から下村明世と押目有紀の2名が推薦され、表彰をいただきました。皆様のご支援に賜るものと感謝いたします。

コロナ感染症の拡大によって、ここ4年はWEB開催でしたが、徐々に東京会場での開催でした。意気揚々とした活気ある空気、発言に圧倒されました。そして、私たちの住む日本の状況を学び、その中で働く自分のウエルビーイング「人は幸せになる為に生きている」をキーワードに講演をいただきました。最も、新鮮で印象に残ったのは、ナイチンゲール看護研究所・金井一薫先生の講演でした。ナイチンゲールが地域看護思想を持っていた事に驚き、「看護」を振り返る良い機会となりました。

そして、共に同行していた仲間とおいしいお酒と食事、おしゃべりと格別な時間に感謝しています。



## BCP机上訓練

### 「有事における岡山県訪問看護ステーション連絡協議会の役割と動きについて」

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

副会長 谷部明子

令和3年介護報酬改定においてBCPの作成、および研修訓練が義務化され感染症や災害が発生した場合に、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築するために研修の実施や訓練（シミュレーション）の実施等に取り組んでいます。有事に対策本部立ち上げ、関連機関との情報共有・情報収集と集約、復興支援を行います。

各事業所において作成したBCPが実際に使用できるものにするために、何をしたらよいか、有効性に不安がある、効果的な連携の方法がわからないなどの課題も見えてきました。

災害を想定した訓練を地区別に行い、「どの段階でどこに連絡すればよいか」「情報共有、連携の方法」「人物資の確保」「職員・利用者の安否確認」「サービスの提供」等、有事の際にスムーズな対応ができるよう、協議会全体で取り組んでまいりたいと思います。どこでどのような災害が起こるのか予測は困難です。BCPに対して考える機会を設け、積極的にかかわることが、重要なことではないでしょうか。



## 「まちの保健室・おかやま看護展」を終えて

訪問看護リハビリステーションしん

河原麻耶

10月27日、岡山市表町商店街で開催された「第35回まちの保健室」に参加しました。この取り組みは地域住民の健康促進を目的としており、多彩なブースが設置されました。

当日は、健康測定コーナーや健康相談コーナー、国際助産師の日コーナー、禁煙啓発コーナーなどがあり、選挙日とも重なったこともあり商店

街という賑やかな場所で多くの市民が訪れました。私は、自宅での看護について相談できるブースに訪問看護師として参加し、広報委員の駒牧さんと共に地域の方々に直接アドバイスを提供しました。

ブースに来られた方々の多くは、現在は在宅療養が必要ないものの、将来的に自宅での看護が必要になるかもしれないと考えている方や、身の回りの人に訪問看護を勧めたいとおっしゃる方が目立ちました。具体的なサービス利用に向けての手続きの方法や必要な支援についてお話しすることで、少しでも不安を軽減できたことが嬉しかったです。

このイベントは、地域住民が健康について考えるきっかけとなり、互いに支え合うコミュニティの重要性を再確認させる場となりました。今後もこのような取り組みが続き、より多くの人々が健康を意識することを期待しています。



## 令和7年度新事業の紹介

### 「認定看護師・特定行為研修修了した訪問看護師の連絡会および相談窓口の設置」について

会長 菅崎 仁美

令和6年8月に開催した認定看護師・特定行為研修修了看護師との交流会の中で、「専門性の高い訪問看護師に相談したい」という意見が多くあり、また、認定看護師等も「地域での看護実践を通して相談、指導を行い訪問看護の質の向上に貢献したい」という思いを持っていることがわかりました。

そこで、令和6年11月に「認定看護師・特定行為研修を修了した訪問看護師の集い」を開催、協議の上、総意で「認定看護師・特定行為研修修了した訪問看護師による連絡会および相談窓口の設置」を事業提案することとなり、第5回理事会において令和7年度事業として承認されました。

令和6年12月時点では、県内に専門性の高い訪問看護師は17名在籍しています。認定看護分野では、緩和ケア、がん性疼痛看護、摂食・嚥下障害看護、認知症看護、皮膚・排泄ケア、訪問看護、認定看護管理者、特定行為では腹腔ドレーン・ろう孔・創傷・創部ドレーン管理、栄養及び水分管理に係る薬剤投与・呼吸器関連になります。

ケア方法や支援について困った事例や制度等、専門性の高い訪問看護師と一緒に考えることで、より質の高い看護ケアができることをめざしていきます。

また、相談内容によっては、岡山県看護協会の在宅ケアアドバイザー派遣事業へ繋げていきたいと思えます。

相談の受付方法や、相談方法については、皆さまのご意見等も参考にしながら、双方において相談しやすい方法を検討してまいりますので、是非ご意見等を事務局までお寄せください。



## 収穫祭

訪問看護ステーション  
なないろ



今年  
は猛暑と  
イノシシ被害で  
サツマイモが不作



職場中は  
食べてみたい

イモつるのきんぴら  
作ってみてよと  
言われた事を思い出し



イモつる 適量  
ごま油 大1  
しょうゆ 大1.5  
みりん 大1  
砂糖 大1  
和風だし 小1  
白いりごま 大2

作ってみたら・・・



ぜひ、  
作ってみてね！

来年も  
楽しみたい！

イモより  
おいしいかも！

## 訪問看護コールセンターおかやまより

昨今、度重なる制度改定に伴い、訪問看護の制度が複雑化しております。

皆様の訪問看護ステーションにとって、制度はとても大切であり、正しく理解し、運用していきましょう。

### 制度に関する相談窓口

#### 【介護保険に関する事】

岡山県子ども・福祉部 指導監査課 ☎086-226-7917

※岡山市、倉敷市、新見市に所在する事業所については、各市介護保険担当課へお問い合わせください。

#### 【医療保険に関するもの】

岡山県子ども・福祉部 長寿社会課 医療保険指導班  
☎086-226-7325



その他、詳細は当会ホームページをご参照ください。

### 編集 後記

2024年は6年に一度の医療・介護・障害福祉の3つの報酬が同時に改定されたトリプル改定の年であり、BCPにおいても具体的な動きを進める年でした。

また、新型コロナが感染症法上では5類に移行して2年目に入ったものの、インフルエンザも猛威を振るい、訪問看護としてはまだまだ感染対策に緊張感を持つ1年でもありました。

気を緩める暇もない訪問看護です。そんな状況下ではありますが、ステーション同士がつながり、訪問看護の質が向上できるよう、この広報誌が皆様の一助となれば幸いです。

広報委員一同